

プログラムの目標観

- 1 業務改善の着眼点を学習することで、自分たちで改善に取り組める
- 2 業務の真の目的を考えることで、やり方の改善のアイデアを考えるクセをつける
- 3 実際の業務改善を、自分たちで取り組むことで、業務改善スキルを身に付ける

プログラムのポイント

多くの社会福祉法人様では、ICT化の推進、ロボットの導入など、利用者の安心安全や職員の負担軽減につなげていく動きが進んでいます。しかしながら、まだまだ現場では、人手不足、業務過多で「休憩時間や休みもとりにづらい」など、今の人員で、仕事をいかに早く効率的に正確に遂行していくかが、喫緊の課題となっています。

自分たちで「業務効率化」「ヒューマンエラー防止」「5S(整理・整頓等)」による業務改善を、更に進めていくための取り組みのご支援をさせていただきます。

仕事を
効率よく
行う

仕事のミス
を減らす・
無くす

整理整頓

※下記プログラムは一例です。貴組織のご要望に合わせてプログラムをご提案させていただきます。

スケジュール

1回目

- ・社会福祉法人の業務改善の課題
- ・業務改善ミニ実習
- ・業務改善ステップ
- ・改善の思考手順
- ・ムダの定義

※事後課題

2回目

- ・業務可視化手法
- ・業務フローの検討
- ・業務量の把握
- ・業務の改善点

- ・改善提案書

※事後課題

3回目

- ・適正業務再設計
- ・改善ターゲットとプラン再検討

- ・改善実行プラン
アドバイス

※事後課題

4回目

- ・取り組み状況共有

- ・課題解決の検討

- ・今後の改善実行
プランの再検討
アドバイス

期待される効果

- 1 自分たちで自主的に業務改善に取り組むことを促進します。
- 2 業務改善スキルや改善のアイデアを考えるクセが身に付きます。
- 3 自分たちで実際の改善に取り組む実行を促進します。